

どうする

コロナ対策

日本共産党

医療体制の強化急げ



新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっています。

国民のいのちと健康を守るため、医療体制確保とそのための財政措置が急務です。

病床 確保へ財政補償を

政府の専門家会議は1日、爆発的な患者増が起きる前に医療現場が機能不全に陥ると警告しました。医療崩壊を絶対に起こしてはなりません。

病院が病床確保のために稼働しているベッドを空けると、減収になります。しかし安倍首相は、減収分の財政補てんを事実上拒否しています。

病院経営が大変な時に

ただでさえ病院経営が大変な時に、ベッドを安心して空けられる状態にするには、財政的な補償を政府が責任をもって行う必要があります。

検査 医師判断で迅速に

PCR検査は医師が必要と判断しても帰国者・接触者相談センターを通さなければ検査できません。改善が必要です。少量の血液で被ばくの危険もない安全で迅速、簡易な抗体検査も導入すべきです。

保健所 予算の抜本増を

新型コロナ対策の最前線に立つ保健所は、“予算もなく、クラスター対策に人員が割けない”と悲鳴。1995年以来、保健所は半減、職員も激減しています。予算を抜本的に増やす必要があります。

緊急事態宣言

どう考える?

学校休校

専門家意見を

緊急事態宣言が必要と判断した際、専門家の意見を十分聞くこと、国会と国民に十分説明することが必要。私権の制限は抑制的にし乱用を慎むことも当然です。私権制限した場合の補償も必要です。



科学的根拠で

休校措置は感染抑止のためには場合によっては必要。しかし一律的なやり方は禍根を残しました。地域で状況は様々。科学的根拠をもとにした自治体の判断を政府が支える必要があります。

こんな政治でいいのでしょうか?!

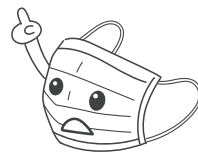
公的病院 440カ所の統廃合?

安倍政権は新型コロナ対策で病床確保を求める一方、2025年までに急性期病床など20万床減らせと大号令。全国440の公立・公的病院を名指し統廃合を求めました。

「せめて新型コロナが収束するまでは計画の棚上げを」と求めた共産党・田村智子参院議員に、厚労相は「並行して進める」と答弁。確保しながら削減——バカげています。

場当たり「アベノマスク」

「2枚で3人家族はどうするのか」。安倍首相が突如表明した布マスク2枚配布。「増産する」と言い続けながらマスク不足は一向に改善されず、その結果がこれとは。「アベノマスク」は物笑いの種です。



200億円使うなら…

1枚200円程度、単純計算で200億円+送料。自粛のための損失補償など緊急課題は山積しています。その中で効果が疑問視される布マスクの配布。どう考えても場当たりのです。

感染防止には政府と国民の信頼が大事なものに